

わたしの「避難」について考えてみよう（ワークシート記入のヒント）

災害リスク

- 洪水、土砂災害のハザードマップで災害リスクを確認
- ハザードマップで表現されていない災害リスクもあるので留意
 - ・水は低いところに流れ集まることをイメージ
 - ※川の近く、川の高さと同じ場所、堤防より低い場所、周囲より低い場所
 - ・斜面が崩れることをイメージ（がけの上から土砂が落ちてくる）



【もっと考えてみよう】
ハザードマップは、洪水、土砂災害以外にも、内水、高潮、火山、津波、ため池、地震などがある。市区町村が発行しているハザードマップを確認し自宅の災害リスクをしっかりと把握

避難先

- 安全な場所にいる人まで避難する必要はないが、ハザードマップで表現されていない災害リスクを見逃さないよう、事前にしっかり確認
- 災害リスクのある人は、自宅に留まって安全確保できるか、条件を確認
 - ※土砂災害は、十分頑丈なマンションの上の階に住んでいる人以外、避難先への移動が基本
- 自宅を離れて避難先へ移動（立退き避難）する人は避難先を検討。
- 立退き避難の先は、市区町村が指定する緊急避難場所だけではない。安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人宅など、他にないか、複数の避難先を、優先順位を付けて整理



避難行動

- 避難に必要な時間は、準備と移動の時間
- 持ち物は、感染症対策も含め、必要な品を日頃から準備
- 大人なら1 km歩くのに15分くらいかかる。子どもはもっと
- 一緒に避難する人、風雨や道路など、外の様子により、持ち物（非常持ち出し品）や服装、避難に必要な時間は異なる



いつ避難するか

- 風や雨が強くなると屋外を移動することが難しくなる。道路が浸水したり夜になると、足下が見えず、移動は危険を伴う場合もある。そうならない内に、早めの行動が大事
- 特に、土砂崩れや急激な水位上昇による洪水は、予測が難しく、急激に状況が悪化する場合あり。早めの行動が重要
- 市区町村が発令する避難情報で確実に避難
- 避難情報が発令されていなくても、気象庁等が発表する防災気象情報を参考に、自主的に早めに避難行動

参考＜警戒レベルと防災気象情報の関係＞

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	-
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを高める	早期注意情報	1相当 -	-

※「早期注意情報」は、警報級の現象が5日先までに予想されているときに、その可能性を【高】【中】の2段階で発表

地域の細かい状況はキキクル（危険度分布）を見て確認



(気象庁ホームページバーナー)

警戒レベルに相当する気象庁等の情報

市町村が発表する警戒レベル（避難情報）で確実に避難
気象庁等が発表する防災気象情報を参考に自主的に早めの避難

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当 氾濫注意情報	
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを高める	早期注意情報	1 相当 -	

## ◆大雨特別警報

避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超える場合に発表します。すでに災害が発生している可能性が極めて高いため、この情報が発表される前に、避難を完了している必要があります。

## ◆土砂災害警戒情報

命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となった場合に発表します。

## ◆キキクル（危険度分布）

大雨警報や洪水警報、土砂災害警戒情報等が発表されたら、地域の詳細な危険度の高まりをキキクル(危険度分布)で確認してください。土砂・洪水の「危険(紫)」は、警戒レベル4に相当します。



## ◆大雨警報、洪水警報等

大雨等によって災害が起こる危険性があるときに、予備知識のない方でも身近に迫る危険に気づくよう、聞きなれている市町村名を基本として発表します。

## ◆早期注意情報（警報級の可能性）

警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報」として [高] [中] の2段階で発表します。

A県沿岸北部地方の早期注意情報（警報級の可能性）  
2022年08月30日05時 A地方気象台 発表

沿岸北部地方では、31日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。今後の情報に留意してください。

沿岸北部	警報級の可能性	30日		31日		1日	2日	3日
		夕方まで		夜～明け方				
		6-12	12-18	18-24	0-6			
大雨	警報級の可能性	[高]	[高]	-	-	-	-	-
暴風	警報級の可能性	[高]	[高]	-	-	-	-	-
波浪	警報級の可能性	[高]	[高]	[中]	-	-	-	-

■ [高] ■ [中]

気象庁ホームページ  
表示イメージ

画面には「A県の警報・注意情報（注意警報事項）」と「B町の警報・注意情報（発表状況）」が表示されています。B町の警報・注意情報には「大雨警報（土砂災害）」、「暴風警報」、「洪水警報（土砂災害）」、「氾濫警戒情報」などが表示されています。また、「警報の切り替え」に関する説明も含まれています。

赤い矢印と吹き出しで「警報に切り替わる可能性が高い時は」と文章で予告している箇所が示されています。

また、「警報級、注意報級の現象が予想される時間帯を表示」という説明も含まれています。

右下には「気象庁ホームページ 表示イメージ」と記載されています。